

2026年度入学試験　社会　第2回　問題解説

洗足学園中学校

◎社会科の入試問題について

1は地理分野、2は歴史分野、3は公民分野を中心に出題しており、各大問25点ずつの配点としています。文章で答える論述問題では、部分点を設けています。

1 地理分野からの出題です。

問1 緯度・経度の差を求めると、緯度は8度6分、経度は5度8分の差があるとわかります。緯度1度あたりの距離は約111kmであるため、緯度8度の差は約888kmとなります。経度の差もあるため、答えはこれよりも長くなることが推測できます。したがって、正解はDです。

問2 Xは、青森県の下北半島を示しています。Yは、四国の中央部から徳島県に流れ込んでいるため、吉野川を示しています。Zは、鳥取県の弓ヶ浜を示しています。したがって、正解はEです。

問3 [地図]中に「せっかい」とあるため、近隣で石灰石が採掘できると推測できます。山口県では、石灰石を原料としたセメント産業が盛んです。したがって、正解は「セメント」です。

問4 雨温図についての問題です。津山は内陸にあることから寒暖の差が大きいため、③であると判断できます。①と②を比べると、①のほうが冬の降水量が多いため、日本海側に位置する浜田であると判断できます。したがって、正解はDです。

問5 耕地面積のうち牧草地の占める割合が最も高い①は、北上高地などで畜産が盛んな岩手県であると判断できます。農業産出額のうち果実の占める割合の最も高い②は、みかんなどの産出が多い和歌山県であると判断できます。したがって、正解はAです。

問6 示されている魚種のうち、かつおとまぐろは暖流魚であり、さんまとたたらは寒流魚です。港の位置より、八戸港は寒流魚の水揚げ量が多く、勝浦港は暖流魚の水揚げ量が多いと考えられ、大船渡港は沖合の潮目により、どちらの魚種も水揚げがされると考えられます。よって、たらの水揚げが最も多い②が八戸

港、まぐろの水揚げ量が最も多い③が紀伊勝浦港、かつおやさんまの水揚げが多い①が大船渡港と判断できます。したがって、正解は**C**です。

問7 4県のうち最も製造品出荷額が多い③は、太平洋ベルトに位置しており瀬戸内工業地域に含まれる山口県です。山口県において割合がより高い は、重化学工業である鉄鋼業であると判断できます。このことから、 は食料品、 は鉄鋼です。①・②・④を比べて、 の割合が最も高い④を、製鉄所が立地している和歌山県と判断できます。したがって、正解は**F**です。

問8 選択肢に含まれる駅のうち、和歌山駅のみが三大都市圏（大阪圏）に属しており、都市圏の中心部への通勤需要があると考えられます。よって、通勤時間帯の本数が最も多い**A**を和歌山駅の列車時刻表と推測できます。したがって正解は**A**です。

問9 (1) 正解は**A**です。いずれも正文です。

(2) 「標高が低いところにあり、津波被害を受ける危険性が高かったため、新しい町役場を高台に移転させ、災害時の行政機能の麻痺を防ぐためであった」といった内容の文章であれば正解とします。

2 歴史分野からの出題です。

問1 文章中に、「複数の楽器メーカーが本社を置く」・「山葉」・「浜北人」・「遠江国」とあります。したがって、正解は「浜松」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問2 文章中に、「御三家のひとつである」・「徳川家とのご縁」・「箱根」・「関所を通行するための」とあります。正解は**A**です。

問3 文章中に「明治期に」とあります。正解は**B**です。**A**は大正期、**C**・**D**は昭和期の出来事です。

問4 「治安維持のため、江戸へ運び込まれる鉄砲を取り締まった。」といった内容の文章であれば正解とします。

問5 文章中に、「安政の大獄」、「直弼」とあります。正解は「井伊」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問6 正解は**D**です。**A**は縄文時代について述べた文です。**B**は「主に銅鐸などの青銅製祭器が」、**C**は「蘇我・物部などの姓」という部分が誤りです。

問7 文章中に「院政期ごろ」とあります。したがって、正解は**B**です。**A**は奈良時代、**C**は鎌倉時代、**D**は室町時代について述べた文です。

問8 正解は「行基」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問9 正解は**G**です。**①**は「南朝」、**②**は「短期的なものであり、数年で終結した」という部分が誤りです。

問10 正解は**D**です。**D**は1970年代における出来事です。

3 公民分野からの出題です。

問1 時事問題からの出題です。**(ア)**には100、**(イ)**には80があてはまります。日本では、男性普通選挙は1925年に実現しており、2025年はそれからちょうど100年が経過した年です。男女普通選挙は1945年に実現しており、2025年ではそれからちょうど80年が経過した年です。

問2 正解は**M**です。参議院議員・都道府県知事の被選挙権は満30歳以上から認められています。

問3 正解は**A**です。都道府県知事と都道府県議会議員の任期は、いずれも4年です。

問4 **(1)** 正解は**F**です。参議院議員の議員定数は248人で、任期は6年です。衆議院議員選挙とは異なり、選挙区選挙と比例代表選挙の両方に立候補することはできません。また、参議院議員は内閣総理大臣になることはできないという日本国憲法の規定はありません。

(2) 法律案や予算案などは両院が賛成したときに成立するため、衆議院と参議院が対等であると、衆議院と参議院で賛否が異なる場合に決定することができなくなる恐れがあります。そのため、任期が短く解散があり、選挙の機会が多くなる衆議院に強い権限を認めることで、国会の審議や決議を停滞させないようにしています。「衆議院と参議院で賛否が異なる場合に決定することができなくなる。」といった内容の文章であれば正解とします。

問5 正解は**C**です。法人税・住民税・固定資産税はいずれも直接税です。

問6 (1) 正解は「健康で文化的な最低限度」です。

(2) 正解は**D**です。洪水などの災害を防ぐために、地下貯水池を建設することは、公共事業の一種と考えられます。

問7 正解は**B**です。安全保障理事会の議決でも、手続き事項とよばれるより重要度の低い事項については、理事国15か国うち9か国の賛成があれば成立します。

問8 正解は**C**です。他者の尊厳や名誉を傷つける言動を制限することは、表現の自由に対する制約の一例です。

問9 **[資料1]**からは年代が上がるほど投票率が高くなっていることが、**[資料2]**からは高齢者の方が人口規模が多くなっていることが読み取れます。よって、若年層は人口規模が高齢者よりも少ないにもかかわらず投票率が低く、高齢者は人口規模が多い上に投票率が高くなっていることが、2つの資料からわかります。 「投票者数に占める若年層の割合がとても低くなっているから。」といった内容の文章であれば正解とします。